

補正予算を可決

正社員になりたい人
相談にのります!!

生活安定化総合対策事業 2100万円

石原都知事の「低所得者に減税する」という選挙公約が実現不能になったので、かわりに考え出された、就職チャレンジ支援事業（正社員へのチャレンジ）や貸付等のための相談員3人分の人件費に当てられる。区は相談窓口開設を社会福祉協議会に委託した。有効活用を期待したい。

特別区税条例の改正に反対

いわゆるふるさと減税を定めるものだが、東京と地方の格差をどう埋めるか、地方分権をどうすすめるか、様々な検討の結果出された税制とは言えない。また、公的年金からの徴収の開始についても、この、年金不信の時代に、年金からの天引きに対して、区民からの批判も多い。

南千住保育園・学童クラブ建設費 575万円

22年前に取得した土地に110本の杭があるために、工事費を増額する。撤去費用4000万円その他、設計変更（不要となったリフトを一つ減らし増床）2000万円 資材費高騰のための700万円とあわせて総額では2年後完成予定の工事で6700万円の増額。

新型インフルエンザ対策 5164万円

発生時の診察・治療用の減圧テント5基、ワクチン6000人分・マスク54万枚や医療従事者用防護服の購入にあてる。いざ、発生した時の医者・看護婦の体制をつくるのはこれからとのこと。（真に効果のあるワクチンは発生してからでないといふことができない…）



荒川遊園施設の緊急改修 2320万円

ふわふわ遊具の事故の調査から示された安全対策として、放送設備の整備、監視カメラ（20台）設置などの経費。

建設環境委員会から

初めての高さ制限

南千住一・荒川一丁目地区の地区計画

建物の高さ制限は明治通り沿いは60m（すでに建てられている31階マンションは除く）、千住間道沿いは40m、その他は16mという地域の合意が形成された。長年、区と区民が木造密集地域不燃化促進事業で話し合ってきたその成果で、地域の世話役の皆さんが地権者を説得。高さ制限のほか、土地の分割は50㎡以上、ブロック塀は高さ60cmまで、などの取り決めが実現した。関係者の皆様、ご苦労様！

荒川区では、西日暮里3丁目、荒川5・6丁目でもまちづくり地域協議会が行われている。マンション計画ができてから反対運動をしても、高さ制限は間に合わない。自分の住む街をど

んな街にしたいのか、地域の合意形成があちこちで行われることが必要ではないだろうか。



環境基本計画策定へ

環境基本条例の制定準備始まる

私の要望 ①都電と自転車と資源循環産業の街という、荒川区の歴史に触れて欲しい ②環境先進都市であるかどうか、他自治体との比較を考えるべき。せめて二十三区で統一の指標をつくるなどして、CO₂削減目標を明らかにするよう、区から提案して欲しい。…廃プラスチック焼却にかかわるCO₂増加量など、各区の回収方法の違いがどう環境に影響を及ぼすか、比べる必要がある ③数値目標もなく、今後の計画をつくっていくのはいかがなものか。多くの自治体で導入している環境指標を取り入れるべき などなど。

